

TUMSAT-OACIS Repository - Tokyo University of Marine Science and Technology (東京海洋大学)

第三部 青鷹丸航海調査報告 平成15年度(2003年度) 実習航海報告

雑誌名	航海調査報告
巻	臨時号
ページ	154-156
発行年	2007-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1342/00000300/

2. 実習航海報告 (Report of the shipboard training)

2.1 海洋環境学実習ⅡB の概要

(Account of the shipboard Training of Oceanography ⅡB)

平成 15 年度海洋環境学実習ⅡB は東京水産大学海洋環境学科 4 年次生が乗船し、平成 15 年 5 月 9 日から 6 月 8 日までに 5 日間の航海を 5 回行なった。また、各航海には、担当教官が乗船し調査、学生指導を行なった。

それぞれの航海の分野は、資源環境系、海洋生物系、環境測定系、海洋物理系、海洋化学系となり、実習生は船舶を用いた海洋の調査・研究を実際に行ない、各観測機器や分析に習熟するための実習をおこなった。

物理情報系 平成 15 年 5 月 9 日～5 月 13 日

担当教官	松山、長島、根本、北出	調査員	6 名	実習生	7 名
観測海域	東京湾、相模湾				
観測項目	CTD-RMS、ADCP、TurboMap、XBT 等				
寄港地	三崎、伊東	航走距離	217.6 浬		

環境測定系 平成 15 年 5 月 15 日～5 月 19 日

担当教官	森永、荒川	調査員	9 名	実習生	2 名
観測海域	東京湾、相模湾				
観測項目	CTD、バンドン、濁度計、PRR600、LI-1000 等				
寄港地	三崎、伊東、横須賀	航走距離	182.2 浬		

生物浮遊系 平成 15 年 5 月 21 日～5 月 25 日

担当教官	山口、田中、茂木、堀本	調査員	14 名	実習生	4 名
観測海域	東京湾、相模湾				
観測項目	CTD-RMS、係留系、IONESS、NORPAC、PRR 等				
寄港地	三崎、伊東	航走距離	209.1 浬		

化学海洋系 平成 15 年 5 月 27 日～5 月 31 日

担当教官	前田、神田	調査員	11 名	実習生	4 名
観測海域	相模湾、東京湾口				
観測項目	CTD-RMS、マルチプルコアラー等				
寄港地	三崎、伊東	航走距離	217.6 浬		

資源環境系 平成 15 年 6 月 4 日～6 月 8 日

担当教官	木原、山崎	調査員	14 名	実習生	2 名
観測海域	相模湾、大島沖				
観測項目	CTD、TurboMap 等				
寄港地	三崎、伊東、波浮	航走距離	213.9 浬		

2.2 水産海洋学実習の概要

(Account of the shipboard Training of Fisheries Oceanography)

平成 15 年度水産海洋学実習は東京水産大学資源育成学科 2 年次生が乗船し、平成 15 年 7 月 13 日から 7 月 17 日までの 5 日間行なわれた。実習では、船舶による海洋観測を実際に行ない、研究に必要な船の装備、観測機器の概要及びその取扱いについて学び、同時に基本的な船内生活や甲板作業を体験した。また、担当教官が乗船し実習生の指導を行なった。

水産海洋学実習 平成 15 年 7 月 13 日～7 月 17 日

担当教官 石井 実習生 19 名

観測海域 相模湾

観測項目 CTD-RMS、スミキン、ORI、NORPAC 等

寄港地 三崎、伊東、下田 航走距離 214.5 浬

2.3 海洋環境学実習 I の概要

(Account of the shipboard Training of Oceanography I)

平成 15 年度海洋環境学実習 I は東京水産大学海洋環境学科 2 年次生が乗船し、平成 15 年 7 月 30 日から 9 月 3 日までに 5 日間の航海を 3 回行なった。実習では、海洋の観測技術の習得とともに、船内生活・作業に必要な知識を体得し、実際に海に触れることで海への理解を深めることを目的としている。また、それぞれの航海に担当教官が乗船し実習生の指導を行なった。

前期 平成 14 年 7 月 30 日～8 月 3 日

担当教官 石丸、山崎 実習補助 1 名 実習生 15 名

観測海域 東京湾、相模湾

観測項目 CTD-RMS、NORPAC、ORI、スミキン等

寄港地 三崎、熱海 航走距離 186.1 浬

中期 平成 13 年 8 月 25 日～8 月 29 日

担当教官 山口、荒川 実習補助 1 名 実習生 9 名

観測海域 東京湾、相模湾

観測項目 CTD-RMS、NORPAC、ORI、スミキン等

寄港地 三崎、伊東 航走距離 179.2 浬

後期 平成 13 年 8 月 30 日～9 月 3 日

担当教官 吉田、神田 実習補助 1 名 実習生 15 名

観測海域 東京湾、相模湾

観測項目 CTD-RMS、NORPAC、ORI、スミキン等

寄港地 三崎、伊東 航走距離 153.4 浬

2.4 乗船漁業実習Ⅰの概要 (Account of the Training on Board Ⅰ)

平成14年度乗船漁業実習Ⅰは東京水産大学2年次生が乗船し、平成15年2月21日から3月19日までに4航海行なわれた。C日程では、調査員が便乗し東京湾、相模湾の海洋調査も行なわれた。

実習では、船舶職員養成の免許講習としての教科に相当する、レーダ観測、消火、救命講習を行なった。また、操舵、ロープワーク及び曳き縄等の実習も行なった。

A日程 平成15年2月21日～2月26日

実習生 男子15名、女子10名
実習海域 東京湾、相模湾
実習項目 レーダ観測、レーダプロットイング、応急部署訓練、操舵訓練等
寄港地 三崎、伊東、横須賀 航走距離 162.5 浬

B日程 平成15年2月28日～3月5日

実習生 男子16名、女子8名
実習海域 東京湾、相模湾
実習項目 レーダ観測、レーダプロットイング、応急部署訓練、操舵訓練等
寄港地 伊東、横須賀 航走距離 148.7 浬

C日程 平成15年3月7日～3月12日

実習生 男子7名、女子8名 調査員 5名
実習海域 東京湾、相模湾
実習項目 レーダ観測、レーダプロットイング、応急部署訓練、操舵訓練等
寄港地 三崎、伊東、横須賀 航走距離 153.2 浬

B日程 平成15年3月14日～3月19日

実習生 男子13名、女子6名
実習海域 東京湾、相模湾
実習項目 レーダ観測、レーダプロットイング、応急部署訓練、操舵訓練等
寄港地 三崎、下田、横須賀 航走距離 184.9 浬